

【委員会 報告】

平成 24 年度 就職懇談会 報告

企画委員 玉田 彰(53 回生)

梅雨明け間際の 7 月 14 日(土)、学友会主催で就職懇談会が開催されました。川光企画委員長の提案により、「国家試験や就職に対して少しでも早く危機感を持ち有意義な夏休みを過ごしてもらいたい」との思いで、昨年までの 8 月末開催を一月余り繰り上げての開催となりました。

笠井俊文先生(49 回生)の開催趣旨説明の後、皿谷弘樹企画委員(短大 2 回生)の司会進行により講演が始まりました。まず、神澤良明学友会会長が学友会についての歴史、会員、支部、役員、事業、会費等の説明の後「他校では類がない卒業生と在校生を結ぶ絆」と称され、参加学生約 70 名も学友会の大切さを理解することができたように思います。



その後、「先輩からの一言」のテーマで以下 4 名の卒業生より講演をして頂きました。

風川かおり氏(医療機器メーカー:短大 11 回生)より入社してからの苦労話や対人スキル、コミュニケーション能力の重要性に関するアドバイス、さらには就活、国試が終わるまでは「テレビを見るならニュースのみ」との厳しいお言葉を頂きました。

西田高大氏(西宮市立中央病院:短大 13 回生)からはプロフィール、経歴に加え、公務員になるため、なった後のメリット(羨ましい話でしたが活字で残すのは差し控えておきます)や給与明細の公表までしてもらい会場は大爆笑となりました。

長谷川亮介氏(医療法人知音会御池クリニック:短大 14 回生)からはスペックの高い装置や検査件数、業務内

容の紹介、さらには検診施設でのスキルアップについても教えていただきました。

堀田侑公子氏(神戸大学附属病院:大 2 回生)は今年の 4 月に就職したばかりの社会人 1 年生。就職活動や面接対策ではフレッシュなアドバイスをしていただき、国試対策では自分の模試成績をグラフ化(きれいな右肩上がり)して「諦めない事が大事」との言葉を頂きました(きっと学生さんの励みになったことでしょう)。

以上、各々違った環境で活躍されている先輩達のありがたいアドバイスを、総括するならば「国家試験に合格しなければ、この学校に入学した意味がない」との叱咤激励であったように感じられました。

休憩をはさみ、川光企画委員長の司会進行で懇談会「あなたの疑問にお答えします」では、応募施設を決めるポイントや応募施設の情報入手策、施設見学についてのアドバイスと共に、一般常識の必要性、面接対策等、学生にとってはかなり重要な情報が得られたように思われます。

懇談会の締めは恒例のバーベキュー。西谷源展先生(44 回生)らに食材、炭おこしまで準備していただき、美味しい



焼肉と生ビール三昧。学友会のメンバーには大病院の幹部の先生方も多く含まれるため、学生にとっては絶好の就職情報収集の場となったようです。また、会場のあちこちで質問やアドバイスを飛び交っており「卒業生と在校生を結ぶ」学友会の存在価値を実感する事ができました。



以上

* 通巻 205 号 2012 年 9 月 25 日発行(H24-No.3)より